

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

生涯学習課

件名	「おいしい！野菜チャレンジ」の開催について
アピールポイント	<p>鹿島市で開催している放課後子ども教室事業の一環として、『特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール』が『カゴメ株式会社』と連携して行っている「おいしい！野菜チャレンジ」を開催します。</p> <p>今回は、学社連携の一環として、学校における授業の中で地元で採れた野菜を使い、東京の講師とのオンライン形式で行います。</p>
説明	<p>1. 事業名 「おいしい！野菜チャレンジ」</p> <p>2. ねらい 給食の残食率を減らし、バランスよく栄養を摂取し、将来に向けて体づくりの大事な小学生の時期に野菜嫌いを克服し、「野菜って楽しい、面白い、食べたい」と思えるようになってもらうことをねらいとします。</p> <p>3. 概要 さわる、見る、かぐ、知る、飲む といった体験学習を通し野菜嫌いをなくす、野菜に親しむプログラムとなっています。 ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、野菜ジュース作りは行いません。</p> <p>4. 日時 令和2年12月22日(火) 14:05～14:50</p> <p>5. 場所 能古見小学校 2階 理科室</p> <p>6. 対象者 能古見小学校 3年生 24名</p>
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

## 本件に関する問合せ先

所属	生涯学習課 社会教育・文化係
氏名	江島 賢一
TEL	0954-63-2125
FAX	0954-63-2313
Mail	shougai09@city.saga-kashima.lg.jp

# おいしい!野菜チャレンジとは?

子どもたちが主体的に学ぶ体験型授業を出前で実現!  
さわる・見る・かぐ・知る・味わうを立体的に体験することで、野菜と仲良くなれるプログラムです。

※本プログラムは、複合的に「社会と食」を学ぶことができる内容となっており、特に小学校学習指導要領「総合的な学習の時間」や「家庭科」「社会科」を学習する際にご活用いただけます。



## プログラムのねらいと目的

子どもたちの野菜不足は、保護者・学校共通の「困りごと」。バランスのよい食事をとることや、給食の残食を減らすといった目的はもちろん、楽しく野菜を食べることに挑戦し、達成感を感じることで、子どもたちの野菜好きを育てると考えました。野菜をおいしいと思う食体験や、自発的な体験授業を通して、野菜と仲良くなるきっかけをつくります。

## プログラムの内容

### ここが特徴!!

#### 01 体験型の出前授業

クイズを通して野菜について楽しく学び、自分たちでジュース作りとレシピを発表するなど、主体的な学びの要素を取り入れた体験型学習を設計!

#### 02 体感で学ぶ食育

「さわる・見る・かぐ・知る・味わう」子どもたちの感覚をフル稼働し、体感を持って食育を学びます!

#### 03 生きる力を育む

体を作る野菜のパワーや旬の野菜などについて楽しく学び、子どもたちの成長をサポートします!

### 野菜のことを知ろう

身近だけど意外と知らない野菜のこと。それぞれの野菜の旬や栄養について学びます。また「チーム対抗野菜クイズ」にチャレンジ。



### 野菜を使ったジュースを作ってみよう

おいしくて健康になれる野菜を使ったっておきのジュースをチームで協力して作ります。たくさん味わって、野菜のさらなる魅力を知ろう!

## 当日の進め方



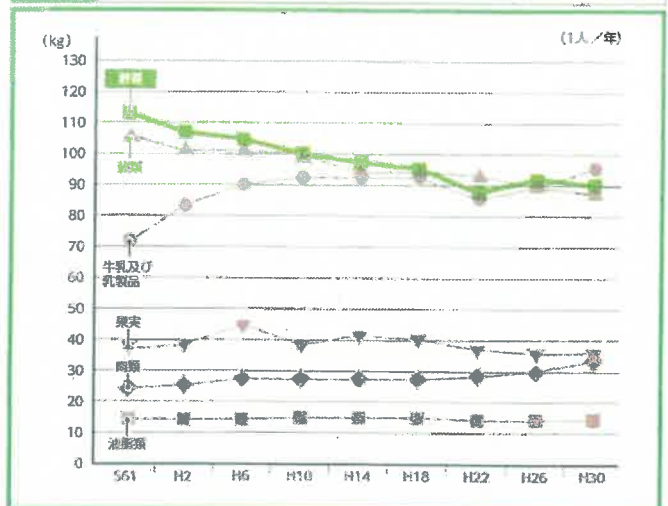
## プログラム開発の背景

### 参考① 野菜摂取量の平均値 (20歳以上、性別・年齢層別)



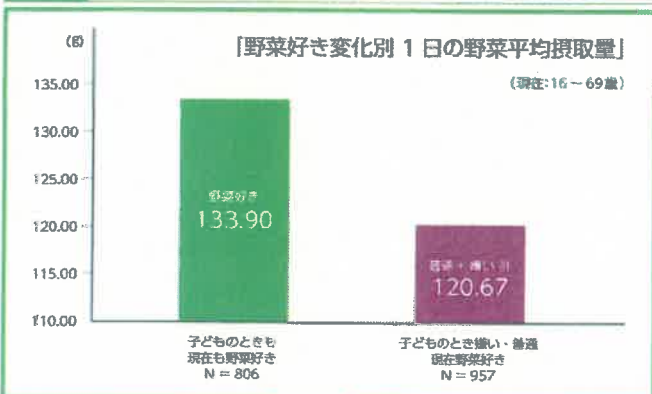
出典：厚生労働省「平成29年 国民健康・栄養調査報告」

### 参考② 主要農産物の消費動向



出典：農林水産省「平成29年度食料需給表(国民1人・1日あたり供給純食料)」  
「平成30年度食料需給表(概算値)」

### 参考③ 野菜好きは野菜摂取量との相関関係がある



カゴメ調べ(2017年「野菜の好き嫌い」と食経験に関する調査)。

昨今の野菜の摂取量はどの世代でも目標値の350gに不足しており(参考①)、長期的な消費動向も以前と比べて低下しています(参考②)。さらに、幼少の頃から野菜好きになることが生涯の野菜の摂取量に影響があることがわかります(参考③)。「前に食べたときおいしくなかった」「よく知らないから食べたくない」…本プロジェクトでは、野菜不足の要因の1つである「食経験による野菜嫌い」を課題と位置づけ、「野菜を食べることができたときの達成感」をテーマとしてスタートしました。

## 楽しい体験が子どもを育む!

農園で収穫体験をした、自分で料理をした、友だちとみんなで楽しく食べた、大好きな家族がいつもおいしそうに食べていた…。その子どもにとって特別な体験であることが、自らの苦手意識から前向きに(あるいは知らぬ間に)脱却できることは、私自身の子育てや活動の様々な経験から感じることです。放課後の時間に大好きな仲間たちと行う「おいしい! 野菜チャレンジ」でクイズやジュース作りを楽しみながら野菜をとる経験は、子どもたちにそんなきっかけのタネを生み出してくれることと思います。

放課後NPOアフタースクール  
押塚 岳大



カゴメの調査では野菜嫌いになるピークは小学生です。カゴメの持つ野菜の知見や野菜をおいしく加工する技術と、「子どもたちの自己肯定感や、チャレンジ意欲を育てたい」という想いを持つ教育現場の経験豊富な放課後NPOアフタースクールの強みを掛け合わせ、子どもたちの「野菜嫌い克服」と、未来に向けた「野菜不足ゼロ」を目指してこのプログラムを考案しました。野菜をテーマにした様々な体験を通して、野菜に対する達成感とポジティブなイメージを醸成します。

カゴメ株式会社 関根 理央



## — めざせ みんな野菜好き! カゴメの食育プロジェクト —

### カゴメ劇場

野菜と仲良くなるきっかけに!  
カゴメオリジナルミュージカル



### VEGEDAY(ベジデイ)

種類・栄養・選び方・保存・レシピ。  
野菜が楽しくなる情報が満載!



### 子どもの野菜嫌い、 どうしてる?

無理なく工夫できるヒントをお届け

